



小笠原 良子
(日本共産党)

小中学校の女子トイレ個室に 生理用品の常備を

保健室での無償配布を継続する

問 生理用品を小中学校の女子トイレの個室に常備する考えは。

答 トイレの個室に、保健室で心配なことを気軽に相談できることや生理用品が無償配布されることを掲示しており、今後も児童生徒の心身の健康状態を丁寧にケアする体制を継続します。

問 全ての3歳未満児の保育料を無償化する考えは。

答 市独自の取組として、令和5年度からこれまでの保育料を約10%引き下げ、保護者の経済的負担の軽減を図っています。無償化は恒常的な財政負担などの課題を整理、検証する必要があることから、総合的に判断していきたいと考えています。

問 給食に地元の有機米を利用する考えは。

答 現時点で地元産有機米の確保は見通せず、利用は難しいと考えています。

問 新聞報道によると、(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業に市は賛成との立場にあるようだと言われているが真偽は。

答 事業者に対し、まずは親会社の汚職事件に関する事項、六ヶ所村での風車倒壊事故の原因等について市民に丁寧に説明するように伝えており、市民の理解が得られることを最優先として事業者働きかけていきたいと考えています。

問 新型コロナワクチン接種の後遺症の健康被害救済制度の申請、認定、死亡に関わる件数は。

答 これまで予防接種法に基づく健康被害救済制度の申請書の受理件数は3件、認定件数は3件、うち死亡一時金に関わる件数は1件です。



戸 来 伝
(柊の会)

サケマス・ヒメマスの養殖事業 に対する支援は

緊急的な財政支援を 行うことを考えている

問 サケマス・ヒメマスの養殖事業に対して、どのような支援を考えているか。

答 サケについては県知事に事業の体制や連携強化などを要望しました。また、奥入瀬川鮭鱒増殖漁業協同組合と十和田湖増殖漁業協同組合に対し、緊急的な財政支援を考えています。

問 指定管理者制度は選考の方法や審議の過程が不透明で不適切であると思うが、藤坂小学校仲よし会と市民文化センターの指定管理者の選考の経緯は。

答 令和5年4月から6月にかけて施設の担当課で選定方法や業務基準書、募集要項等を検討、作成し、その内容を選考委員会で審査、決定しました。その後、指定管理者の候補者を公募したところ、8月までにそれぞれ2事業者から応募がありました。各事業者から提出された事業計画書等とそれを踏まえて施設の担当課が作成した意見書を参考に、各選考委員が審査、採点し、11月の選考委員会で、採点を集計した結果を基に審議を行い、その結果を市長に報告し、市長の決裁で指定管理者の候補者を決定し、今定例会に議案として提案しています。

問 市職員の時間外勤務が多い方から5人の年間の時間数は。

答 令和4年度で多い順に、833時間、646時間、629時間、511時間、460時間です。

問 市長が適切な人員を配置して時間外勤務を少なくさせることが職員の健康管理にもつながると思うが、対応する考えは。

答 適切な人員の配置をしても、大幅な縮減にはなりません。時間外勤務の多い部署では、様々な取組をして時間短縮のため努力しています。